

## 44. 男 女 群 島

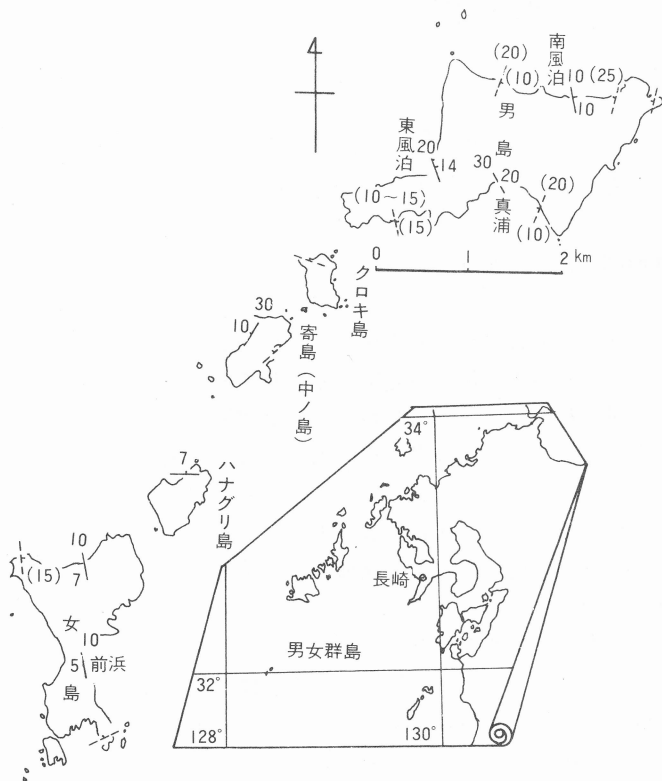
- 地 域 福江市男女群島
- 交 通 交通の便なし。海上保安庁巡視船に便乗，または漁船をチャーター。
- 地形図 男女群島北部・同南部（1/50,000）

男女群島は，五島列島の福江島から南々西約70km，鹿児島県北部の阿久根市の西方約170kmにあり，東経128°20′～25′，北緯31°59′～32°03′に位置しており，北東から南西方向に北東から男島・クロキ島・寄島（中ノ島）・ハナグリ島・女島とつながっている。各島はいずれも数mから数10mの海蝕崖に囲まれており，露出する岩石には著しい柱状節理が発達しており，特に女島の東側には200m以上の柱状節理の発達した絶壁がそそり立ち絶景を呈している。

男女群島は，女島に燈台があるのみで他はすべて無人島であり，そのため巡検コースも決めがたい。キャンプ地としては男島東風泊男島真浦，女島燈台付近があげられる。東支那海上の無人島なので，その日の風向その他で上陸点が制限される。そこで上陸した所から行動出来る範囲で見学せねばならないであろう。男島，女島には若干の小道があるが，他は全くない。

群島全体は，石英角せん石含有複輝石安山岩質溶結凝灰岩で構成されており，その溶結構造は，男島東風泊，真浦，南風泊において顕著である。これらの流理の走向は一般にN30°W～N30°Eを示すものが多く，傾斜は東又は西に緩傾斜（5～15°）を示すものが多い。一般的には，東・西に緩傾斜を繰返し，ゆるく波打った状態で褶曲しているものと思われる。

男女群島の男女溶結凝灰岩の噴出時代を定める証拠はまだ発見さ



男女群島位置ならびに溶結凝灰岩の走向・傾斜  
 走向(実線)……………実測 走向(破線)……………船上よりの測定  
 ( )内の数字……………船上よりの測定値

れていない。しかしながら、岩石を粉碎して分離選別したもののジルコンの群色は桃赤色を示し、ジルコン法により上部中新世の可能性が考えられる。このことは、五島列島福江島、中通島などに見られる溶結凝灰岩と同時代のものである可能性がある。

なお、男女群島北西方の無人島鳥ノ島では、北岸は花こう斑岩、南岸はせん緑ひん岩、一部に文象斑岩が分布している。(松本徳夫)